

授業情報			
開講年度	2026年度	開講箇所	大学院教育学研究科
科目名	数学科教育学研究指導(D-1)(高木)		
担当教員	高木 悟		
学期曜日時限	春学期 01:無その他		
科目区分	研究指導(博士後期)・教科教育(数)	配当年次	1年以上
使用教室		キャンパス	早稲田
科目キー	372B150403	科目クラスコード	01
授業で使用する言語	日本語		
授業方法区分	【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)		
コース・コード	EDUX799G		
大分野名称	教育学		
中分野名称	教育学		
小分野名称	卒業論文/研究、修士/博士論文		
レベル	博士レベル	授業形態	研究指導
単位数	0		

シラバス情報	
授業概要	ファジ理論やラフ集合理論、テスト理論などに基づく教育情報の分析法、評価法に関する研究指導を行なう。 また、受講者の論文作成や学会発表による研究者としての能力を育成する。 対面(zoom中継あり)とオンライン(zoomのリアルタイム形式)を併用する。
授業の到達目標	ファジ理論やラフ集合理論、テスト理論などに基づく教育情報の分析法、評価法に関する研究が自立的に可能となる。論文作成や学会発表など研究者としての能力が高まる。
事前・事後学習の内容	【事前学習】 次回の学習範囲を予習し、特に自分の発表担当の箇所はより深く理解するよう努める。 【事後学習】 扱った単元を復習し、関連する問題等があれば解いて理解を深める。 毎回合計で4時間程度かかると想定される。
授業計画	#1. ガイダンス・論文選定・イントロダクション #2～#14. ファジ理論・ラフ集合理論・テスト理論研究指導 機会があれば学会等で研究発表する。
教科書	受講者と相談して決める。
参考文献	「ファジ理論 基礎と応用」 山下元監修 瀧澤武信編著 共立出版 「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版 「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer
成績評価方法	割合 評価基準 平常点評価: 100% 演習での発表・準備・討論の態度などで評価する。